

ANNZEN 通信

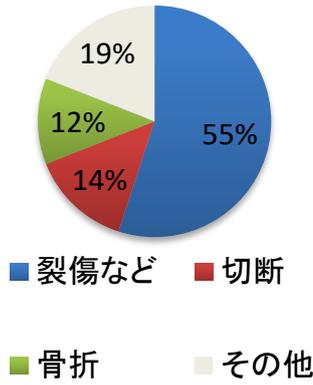
刈払機を使用する時期になりました

今回は当センターでも受講できる刈払機について取り上げます。道路、公園等の管理や畑での農作業の他、様々な分野で広く使われています。また森林保護、保全等のボランティア活動においても刈払機を用いた作業が増加しています。

正しく取扱わないと高速で回転する刈刃が露出しているため、大変危険な道具です。

独）国民生活センターによると、刈払機によるケガは裂傷など55%、切断14%、骨折12%と報告されており、半数以上が裂傷などです。5月と7、8月に事故が多く発生しています。これから夏場に向けて刈払機を使用する際には、次の点に注意してください。

刈払機によるケガ



○姿勢、服装のポイント

・上体をまっすぐに起こし、両足を肩幅よりやや広く開き右足を半歩前に出します。常に身体のバランスがとれた姿勢で行ないます。

・刈刃は刈刃の送り先方向へやや傾けて構えます。

・腕だけで刈払機を操作しないで刈刃が、常に身体の正面になるように操作します。腕だけで操作すると腕に負担がかかります。正しい基本動作を心がけることが重要です。

・作業する際は、飛来物から身体を守る為、保護帽・保護メガネ・長袖、長ズボンを着用し、体を防護する服装で作業を行なってください。

○誤った方法による事例

・飛散物の事故

刈払機は通常、飛散防護力バーを所定の位置に取り付けます。これは石や小枝等が作業者の身体に当たらないようにする為です。草が絡まる等の理由で力バーを取り外し、作業する人もいます。作業は誤った使い方です。

2023 第4号

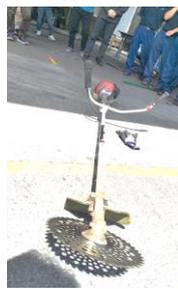
発行年月日
2023年5月23日
責任者
牧田寿也
編集長
白鳥透

作業前に障害物や飛散する物などが無い周囲を確認し、ある場合は片付け災害の発生を防止します。

・刈刃に草などが絡む事故

刈刃に絡んだ草などを取り除く時は、必ずエンジンを切り、止まったことを確認して刈払機を地面に置き、取り除きます。

草などが絡まると刃の回転が止まることありますが、エンジンを切らずに草などを取り除くと絡まったものを取り除いた途端に刃が回転し、手を切ったり切断する可能性があります。



講習風景

・キックバック

金属製の刃を使う際、キックバックに注意する必要があります。キックバックとは障害物や地面に接触すると、刈払機ごと刈る方向とは反対側に強く跳ね返される現象のことです。

キックバックで刈払機が跳ね返り刈刃が他の作業者に当たってしまう事などがありますので周囲を確認し、人がいないか障害物等が無いことを確認する事が重要です。

○振動障害

（規定時間以上の使用）

刈払機を継続的に使用すると振動障害が起こります。

その為、振動工具により連続作業時間が決まっています。手から振動を受けることで生じ、直接振動が伝わる手指、腕、肩にかけて障害が起こります。

障害は抹消循環障害、末梢神経障害、運動器障害があり、症状は手指のしびれ、冷感、痛み、握力の低下などがあります。

刈払機の知識がないまま使用するのはとても危険です。刈払機をご利用になる方は是非センターにて受講をお願いします。

ベトナムの方向け

フォークリフト

技能講習開講

ベトナムの方向けフォークリフト技能講習を6月から開講します。学科講習はベトナム人通訳がサポートし、ベトナム語の補助テキストも付いてきます。自動車免許がない方でも受講できます。全5日間です。

Xin chào



Instagram



@SFTCVIETNAM

ベトナムの方向けにインスタ始めました。
是非見に来てください!!